

# スタ小新聞



## やどうぼうし キャンプファイヤー

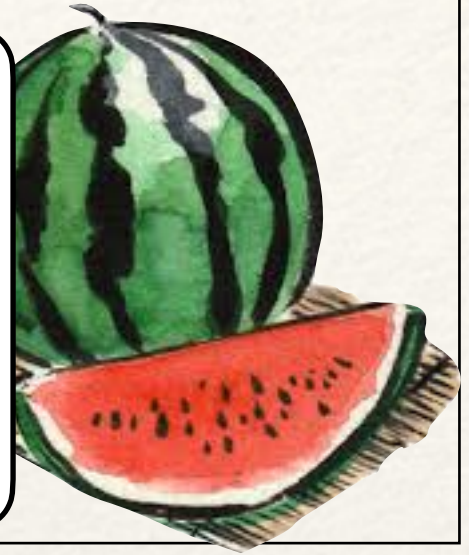
先日やどうぼうしでSPD(延長)授業を行いました。この日は自分の分は自分でカレー作りを行いました。ご飯は自分の道具のメスティンを使って炊き、にんじん、じゃがいもは皮剥きから包丁で切るところまで全て自分たちで行ってもらいました。やどうぼうしでは、火の取り扱いや包丁の扱いなど、なるべく自分たちで行ってもらおうようにしています。危ないからやらせないのではなく、正しい扱い方を伝えたいので使ってもらおうことで、自信に繋がります。子どもの好奇心を引き出すことが出来ます。もちろん、気をつけていても怪我をしてしまう事もあります。怪我をしてしまった時は、『なんでそうなったのか』、『次はどうすればいいか』を実体験を通して学んでいきます。大人が先回りして危ない事を避けるのではなく、子どもたちの意欲・吸収力の妨げにならないような環境作りを行なっていききたいですね。前置きが長くなってしまいました。SPD授業の際に、キャンプファイヤーを行いました。これは私自身がどうしてもやりたかった企画です。火の便利さや特性はなんとなく理解しているつもりでも、言葉で説明できない火の力を体験して欲しかったんです。火を囲んで、ただ眺めたり話をするだけでなぜか笑顔になれます。実はこの感覚、私自身も小学生の頃に地元で行ったキャンプファイヤーで感じたことを今でも覚えています。友達と話した内容や行った事は忘れてしまいましたが、楽しかった記憶は鮮明に覚えています。皆さんも小学校の時にいったキャンプファイヤーのことを覚えていてくれる方が多いのではないのでしょうか。やどうぼうしの子たちもこの感覚を少しでも覚えてくれたら嬉しいですね。



## くろぼうし どろんこスライダー 始めました

夏と云えば、川での活動ばかりではありません。くろぼうしでは、スタツでは恒例の『どろんこスライダー』を行いました。大高緑地公園にあるねんど山に水を流し、スライダーを楽しむこの遊び。大人も子どもも大好きな遊びの一つです。どろんこスライダー

の魅力はただ滑るだけではありません。たくさん魅力がありますが、私が思う魅力は「汚れる」ことです。目に見えて服がドロドロになり、顔も泥だらけになります。こうすることで、心も身体も解放的になります。年齢を重ねるほど、汚れることに抵抗を持ちます。でも一度汚れてしまえば、後先考えずに全身を使って遊んだり汚れを気にせず動きがダイナミックになります。これこそ究極の遊びの始まりです。中にはれるのが苦手な子もいます。無理に汚れる必要はなく泥の感触や音や匂いで存在感が鍛えられます。自然の中にはそういったきつかけが数多く存在します。そんな環境を舞台に「生きる力」を育てていきたいと思います。



## 夏の風物詩

夏休みも終盤に差し掛かるこの時期、稀に見る猛暑に見舞われている日本でも子どもたちはどんな夏休みを過ごしているのか気になります。私が小学生の頃は夏休みも毎日外で遊んだり、何も考えずに旅行へ行ったりしていました。そういった事も難しくなりましたが、そういった事もスタツ小学校の活動では、暑さに負けず、川遊びを中心に活動を行なっています。自作の筏を作ったり、飛び込みをしたり、水鉄砲を使って遊んだり、夏ならではの楽しい活動が盛りだくさん。そんな夏の活動に欠かせないのが、、、【スイカ】です。川遊び後に食べるスイカは絶品です。美味しそうに食べる子どもたちの姿がいつしかスタツ小学校の夏の風物詩に。スイカ、最高〜。

